

講義名	(対面) リーダシップ養成B		
科目区分	教養一般		
担当教員	石黒 太 / 南木 陸彦		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>
<p>リーダーシップ論を学び、グループで活動することを通して、自らの特徴を生かしてリーダーシップを発揮する力を養う。さらにはその力を、実際に発揮する。まずリーダーシップとは何かを学ぶ。次に講義前半では、2020年度の「自己発見とキャリア開発A」等の「気づきの教育」を振り返り共有した上で、「Ryuka 祭」の実施と関連して独自の展示物等を作成する。講義後半では、2021年1月頃～2021年度にかけて実施される様々なプログラムについて、立案したり改善案を作成したりする。その中には2021年度の「自己発見とキャリア開発」のいくつかのプログラムも含まれている。</p> <p>この科目と共に前期の科目である「リーダーシップ養成A」も受講し、「自己発見とキャリア開発」のCAとしての能力向上をしていただくことも期待している。CAとして登録されない場合でも、本学の様々な活動の場でリーダーシップを発揮することを期待している。</p>

<b>到達目標</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の特徴を生かしたリーダーシップを発揮することができる</li> <li>・「自己発見とキャリア開発」等の「気づきの教育」の体験や成果を、言葉、文章、図表等で表現することができる</li> <li>・Ryuka 祭の実施と関連してリーダーシップを発揮して活動する</li> <li>・様々なプログラムについて、立案したり改善案を作成することができる。</li> </ul>

<b>提出課題</b>
<p>様々なワークシートを授業内で作成する。</p> <p>「自己発見とキャリア開発」等の「気づきの教育」の体験や成果を示したRyuka祭と関連した展示物を作成する。</p> <p>2021年1月頃～2021年度にかけて実施される様々なプログラムについて、立案したり改善案を作成する。</p>

<b>課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック</b>
<p>提出物については、授業中に講評したり返却したりする。</p>

<b>評価の基準</b>
<p>授業への積極的な参加、成果物の出来栄、Ryuka祭と関連して、この科目で身に付けたリーダーシップを発揮したかどうか、を総合して評価する。</p>

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>
<p>この科目は基本的には対面で実施する。コロナ禍との関連で対面での授業が実施できない場合は、オンラインのLiveで実施する。</p> <p>この科目では授業時間外に、Ryuka祭と関連した展示物作成等をグループで実施するので、授業時間外の「学習時間」が相当長くなる。あらかじめ心づもりをした上で受講していただきたい。</p> <p>また、この科目の受講者には、ぜひ2021年度の「自己発見とキャリア開発」CAとして登録していただきたい。そして、この科目で学んだリーダーシップを生かして、2021年の春休み中に入学前教育の「先輩交流」等の担当や運営補助をお願いしたい。</p> <p>またさらに2021年度の「自己発見とキャリア開発」のCAとしては、「先輩交流」を担当すると共に、担当教員のクラス運営への協力をお願いしたい。また、一部のプログラムでは、ファンリレータとして活躍していただく可能性もある。</p>

<b>教科書</b>
<p>.使用しない。</p>

<b>プリント資料及び参考文献</b>
<p>授業中に配布する</p>

<b>授業計画</b>
<p>基本的には対面授業で実施する予定です。</p> <p>シラバス執筆時の予定であり、受講生数等により変更する可能性があります</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. キックオフ(講義の狙い、アイスブレイク、チーム形成)</li> <li>2. リーダシップとは何か</li> <li>3. 気づきの教育振り返り・共有</li> <li>4. Ryuka祭関連展示立案チーム活動1</li> <li>5. Ryuka祭関連展示立案チーム活動2、中間発表・相互評価</li> <li>6. Ryuka祭関連展示立案チーム活動3</li> <li>7. Ryuka祭関連展示立案チーム活動4</li> <li>8. Ryuka祭展示立案最終発表、Ryuka祭前日～当日予定作成</li> </ol>

<p>授業時間外活動：Ryuka祭関連展示前日等準備、オンライン来訪者への説明等の活動をする可能性があります</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. Ryuka祭振り返り、各種のプロジェクトの説明、チーム形成</li> <li>10. プロジェクトごとのチーム活動1</li> <li>11. プロジェクトごとのチーム活動2</li> <li>12. チーム活動結果中間発表と相互評価</li> <li>13. プロジェクトごとのチーム活動3</li> <li>14. プロジェクトごとのチーム活動4</li> <li>15. プロジェクトごとの計画最終発表、全体まとめと今後の予定の確認</li> </ol>
---

<b>授業形態(アクティブ・ラーニング)</b>
<p><input type="checkbox"/> ア：PBL(課題解決型学習)</p> <p><input type="checkbox"/> イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)</p> <p><input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> エ：グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク</p>

<b>準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
<p>授業時間外に、Ryuka祭関連展示の作成をするなど、チームごとに打ち合わせ等の時間が必要になる可能性が高い。このような事情で、授業時間外の「学習時間」が相当長くなる。</p>

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>
<p>この授業はグループワークを通じて、受講生間並びに受講生と担当教員間で相互啓発的な形で進めます。オンライン授業となった場合も、同様にグループワークを実施します。</p>

<b>実務経験の有無及び活用</b>
<p></p>

<b>備考</b>
<p></p>